

首都圏増田会だより

33

2018.6

増田会 第2のふるさと

2018年11月18日(日)首都圏増田会
オーラムで会いましょう。

役員の声

思い出に残る増田会に

首都圏増田会副会長 岩田 幸子【本町出身】



細野新会長、越後新幹事長のもと、第32回増田会総会を会員の皆さまと共に無事開催することができ、ありがとうございました。

今年は新たな取り組みで、参加して頂いた皆さまにアンケートを取らせていただき、大変貴重なご意見をたくさん頂きました。私たち役員一同は、心新たに「今日の総会も楽しかったなあ〜」と言って頂けるような企画・運営を考えていきたいと思います。

話は変わりますが、私は友人と2人で今年の2月に雪の横手を楽しんできました。友人は初めて見る「かまくら」「梵天」そして大人の女性の太ももを想像・・・「シガッコ（つらら）」が「こんなに大きいのは初めて見た」と言って大はしゃぎしました。

四季折々の横手には、たくさんのごほうびがいっぱいあることに改めて気づかされました。

秋には「ふるさと探訪ツアー」があり、今から楽しみです。会員の皆さまも是非一緒にツアーに参加しましょう。またお会いできる日を楽しみにしております。

「秋田生まれの越後です」首都圏増田会幹事長 越後 英雄【七日町出身】



私は普段セミナーや大学の講師をやっています。冒頭のあいさつはいつもこれで始めます。東京に出て来たのは19歳の時です。色々な場面で秋田県出身の方に出逢うことが多くありました。あった途端にずっと前から知り合いの様に意気投合してしまいます。ましてや増田町出身のたかであればなおさらです。

今回、首都圏増田会の幹事長をお引き受けしたのは、増田出身の皆さんの絆をどんどん広げ深めたいからです。

都会に暮らしていると、自分の存在価値がふと分からなくなってしまうことがあります。そんな時に思い出してください。同じ増田町出身の方が、首都圏

にはたくさんおられます。同じ増田を故郷とする方のコミュニティが首都圏増田会です。あなたの仲間がたくさん集まって、語らい、たっぶりセリの入った芋の子汁を食べ、増田の酒っこと一緒に飲めるんです。さらに歌っこも歌って、プレゼントも当たります。まだ参加したことのない方、まずは気楽に連絡をください。首都圏増田会について、参加方法などをご説明させていただきます。

皆さんの笑顔がたくさん集めたいと思います。あなたもぜひ首都圏増田会の一員になってください。これからも一生懸命頑張りますので、既存会員の皆さん共々どうぞよろしくお願いいたします。

楽しい増田会へ尽力します 首都圏増田会役員 佐藤 守【荻袋出身】



私が増田会に初めて参加させてもらったのは2回目からです。中学校の同期会で出席者の一人が「増田会に行って来たか」との問いかけに「行って来たよ」と数人が返事をしました。

増田会の存在を知り、翌年日本青年館で開催された増田会に出席させていただきました。会場は、たくさんの方でごった返しておりました。中学校の恩師だった小泉先生や同級生がおり、大いに盛り上がったことを思い出します。その後、会場が上野に移り納豆汁や芋の子汁、物産館での増田の特産品を目当てに参加しておりました。地域の人や同級生の兄弟姉妹と友好の輪も広がり二

次会に繰り出す事も多くなりました。皆、同じ買い物袋だったので、帰り際に自分の買い物袋が無くなっていたこともありました。現在は、参加者が減っております。会員の高齢化や新規会員が増えていない事等が原因と考えられます。

この度、幹事として増田会に携わる事になりました。微力ながら楽しい会、参加者が増える会に尽力していきたいと思っています。



首都圏増田会 会長

細野 芳之助

【小栗山出身】

「ふるさとの思い」

昭和61年11月に首都圏増田会が親睦と融和・愛郷と連帯を旗印に発足してから32年を数えることになりました。

初代会長・久米田正一氏、2代目会長・田中正次氏、3代目会長・阿部俊吉氏、4代目会長・佐藤章氏、と歴代の会長の下で増田会の運営に携わりながら今まで時を過ごしてまいりましたが、佐藤章会長が退任することになり、私が会長職をうけることになりました。

私で本当に良いのか迷っているところではありますが、会長となったからには歴代の会長に負けぬように微力ではありますが、誠心誠意努めてまいり所存であります。

今まで歴代の会長のおかげをもちまして、会の運営が滞りなく行われてまいりました。今年で32回の総会も上野・オースラムにおいて、横手市からは副市長・市議会議員・増田町観光協会長・各ふるさと会の会長ほか多数の来賓のご参加をいただき、賑やかに盛大に総会ができましたことを大変感謝いたしております。

増田会も高齢化には勝てないので年々会員数も減少しており、何かと良い方法がないか役員会のたびに議題に上がりますが、これと言って良い案がでてこないのが現状で、大変に苦慮しているところでもあります。

これからは、ふるさと増田町に会員と一緒に訪ねて、ふるさとの新鮮で清らかな空気をいただただいて会員一同が益々元気になり、ふるさとが良い方向に少しでも向かっていくような行動を計画して、増田町の発展に少しでも役に立てばうれしいことであります。

首都圏増田会の総会は、毎年同じ場所において、11月の第3日曜日の11時30分に開催いたしますので、会員の皆さまにおいては友達等に声をかけていただき、一人でも多くの方々の参加をいただきますようお願いしたいと思います。

総会では、毎年ふるさと増田町から料理人の方々にお手伝いをいただき、「芋の子汁」「菊の和え物」「新米あきたこまちのおにぎり」などが振る舞われ、参加者一同ふるさとの味を堪能しており「総会に参加してよかった」とも言っていました。

無事に総会も終了することが出来ました。これからも役員一同力を合わせて、ふるさとを思い出しながらお互いの近況も語り合い、一層の絆を深めて増田会の発展に努めてまいりますので、会員の皆さまの温かいご支援とご協力をお願いいたします。

第32回首都圏増田会総会を振り返って

今回は、シャンソン歌手の黒木悦子さん（本町出身）に会場いっぱいに響き渡る歌声を聞かせていただき、その美声が私たちを和ませてくれました。その後、皆さんでカラオケやビンゴゲームを楽しみ、大変賑やかな懇親会となりました。また、料理も選り取り見取りありましたが、今回は秋田のお米で作ったオニギリを食べたところ、思わず「ウメー」と声が出てしまい、他のおいしい料理があまり進みませんでした。

さて、ここまで増田会を盛り上げて頂いた佐藤章さんには、会長としてのご尽力に心から感謝申し上げます。

高橋 幸三（記）

元祖はるはんない幻灯



2月10、11日、「第14回元祖はるはんない」幻灯が行われました。雨や吹雪でしたが、地元住民や観光客など市内外から多くの方が訪れました。約10キロの道路に約3千本のろうそくが灯されたほか、各集落ごとにかまくらや雪像を制作し、飲食を振る舞うなど、心のこもった“おもてなし”でお迎えしていただきました。地元の熱気と、そこに暮らす皆さんの温かさを感じました。

(ますだ地域通信 平成30年3月31日号より)

防災ボランティア



1月23日、福嶋、田町集落の70歳以上の単身高齢者宅をボランティア訪問しました。増田幹部交番、消防署増田分署、消防団員、防犯指導員、保健師が訪問し、危険個所の点検、健康状況の確認、家周りの排雪作業、防犯啓発などを行いました。日ごろから防犯意識を持ち、地域での声掛けなどを大切にしましょう。

(ますだ地域通信 平成30年3月31日号より)

真人公園開園100周年



2017年、真人公園は開園100年となり、記念碑が建てられました。

一粒の種から ごはんになりました



春から秋にかけて増田小学校5年生の児童が、増田高校農業科学科3年生の生徒の指導のもと、種まき・田植え・生育調査などを体験し、稲を育ててきました。

9月25日には、増田高校学校田で育った稲を刈り、11月14日には、自分たちが収穫した米をみんなでおいしく食べました。子どもたちは、高校生のお兄さん方に親切に教えていただきながら、実際に稲作を体験し、農作物の尊さや食の大切さを学ぶことができました。

(ますだ地域通信 平成30年1月1日号より)

宮城の子どもたちと交流



1月20～21日、浅水小学校（宮城県登米市中田町）の児童27人が、増田を訪れ雪国体験をしました。20日は、増田小学校グラウンドで、「ソリスベリ」や「ミカンまき」など雪遊びを、21日は、天下森スキー場でスキーを楽しみました。あまり雪を見ることがない子どもたちは、楽しそうにはしゃいでいました。横手市（増田町）と登米市（中田町）は、12年前からマンガが縁で交流しており、夏は増田の子どもたちが中田町へ行って交流をしています。夏に交流をした子どもたちは、久しぶりの再会を喜んでいました。

(ますだ地域通信 平成30年3月31日号より)

見事に演じて魅せました



9月23日、増田小学校体育館特別舞台上「横手市創作子ども歌舞伎 後三年祝増田蛙會戦」が上演されました。増田小学校を中心に市内6つの小中学校の児童・生徒と保育園児らが出演。増田小学校の児童9人が、迫力ある圧巻の演技を見せたほか、増田中学校盆おどり研究会、ますだ保育園年長児有志も特別出演で花を添えました。子どもたちは、約3か月間稽古に励み、この日の公演となりました。初めての歌舞伎にもかわらず堂々と演じた子どもたち、12月10日には小坂町の芝居小屋「康楽館」でも公演を行いました。

(ますだ地域通信 平成30年1月1日号より)

精一杯引き抜きいたよ



10月25日、ますだ保育園児が、五十嵐大さん（地元農家）のネギ畑で「ネギの収穫体験」を行いました。食育の一環で毎年行っているもので、年中児27人が力いっぱいネギを引き抜きました。自分の背と同じ高さのネギを引っっこ抜こうとしてもなかなか抜けず、五十嵐さんに手伝ってもらいながら楽しく収穫しました。収穫したネギは、五十嵐さんのご厚意で家に持ち帰りました。園児たちは「鍋がいいかな」「焼いて食べるよ」など自分で収穫したネギを早く食べたいと意気込んでいました。

(ますだ地域通信 平成30年1月1日号より)

蔵史めぐり開催される



8月27日、蔵史めぐり～感謝デーが晴天のもと開催され、約6,500人の観光客で賑わいました。普段公開されていない内蔵や主屋なども公開され、恒例の増田中学校全校生徒による会場案内は、今年も大好評でした。また、増田中学校と増田高校吹奏楽部による蔵ライブ、黒漆喰磨き実演、増田のじまん市など様々なイベントも行われ、来町者を楽しませました。今回は感謝デーということで、見学科無料での開催でした。公開に協力頂いた家屋の皆さまには、感謝申し上げます。開催にあたり、19日に増田中学校、25日に増田小学校の全校児童・生徒による町内清掃が行われ、観光客を気持ちよく迎え入れることが出来ました。

(ますだ地域通信 平成29年9月15日号より)

いつまでも元気で長生きしてね



9月13日、増田体育館で増田地域敬老会が行われました。長年、地域に貢献された方々に感謝し、敬老会特別弁当とお酒、ますだ保育園年長児による歌とお遊戯、地元婦人会の芸能などを楽しんでもいただきました。これからも元気で活躍することを願います。

(ますだ地域通信 平成30年1月1日号より)

増田町の出来事

～ 平成29年度に行われた主な行事を紹介 ～

夏の交通安全運動



8月1日、交通安全啓発活動を実施しました。夏の交通安全運動（8月1日～10日）の一環で、増田地区交通安全協会の皆さんが、国道沿いでドライバーの方に安全運転の呼びかけと啓発用品の配布を行いました。今年度、増田地区では交通事故が多発しております。車の運転には十分に注意し、心にゆとりを持ちましょう。

(ますだ地域通信 平成29年9月15日号より)

新成人 大人の自覚と責任



8月15日、横手市成人式が横手市民会館で行われました。増田地域からは、50人の新成人が式典に参加し、感謝の気持ちと行動に責任を持つことなどを胸に、改めて社会人としての一步を踏み出しました。これまで支えてくださった多くの方々と、これから出会うであろう多くの方々への感謝の気持ちを忘れず、さらに成長していくことを期待します。また、式典後、増田地区多目的研修センターで恩師を交えての記念撮影と祝賀会を行い、久しぶりの旧友との再会を懐かしみ、交友を深めました。

(ますだ地域通信 平成29年9月15日号より)

内蔵で落語や民謡を楽しむ



6月24、25日、まちの駅福蔵を会場に「増田蔵寄席プロジェクト」が行われました。かつて、増田は芝居小屋や映画館など芸能や娯楽があふれ賑わっていました。現代の増田にも芸能娯楽を楽しみ、一緒に笑える交流の場を作りたいと、地元の若者がプロジェクトチームを立ち上げ、企画したものです。福蔵の内蔵では、プロの講談、漫談、落語、増田町民謡同好会による民謡が披露され、賑わいました。

(ますだ地域通信 平成29年9月15日号より)

日ごろのご愛顧に感謝



7月2日、増田町市場商店会が日頃のご愛顧に感謝し「朝市夏の感謝祭」を開催しました。当日、朝市で買い物をしていただいた方は、豪華景品が当たる大抽選会に参加し、お得なひと時を過ごしました。

(ますだ地域通信 平成29年9月15日号より)

第32回 首都圏増田会総会アンケートの結果

アンケートは25枚回収しましたが、全て記入されている方が少なかったため、提出された人数と回答数が一致しないことを予めご了承ください。ご協力ありがとうございました。

①これまで総会に参加したことがありますか。初めての方は何がきっかけですか。

- 初めて・・・3（・同窓会で誘われた ・ふるさと会で誘われた ・次期会長と同級生なので）
- ある・・・18

②会の運びや内容についてのご意見や感想

- スムーズに進行されていて良かった
- 総会の運び方は普通
- 総会の時間を短めにしてほしい

③流会についてのご意見や感想（アトラクション、お料理、飲み物、おみやげ、抽選会など）

- 歓談の時間が長くて楽しかった
- 料理が美味しかった（芋の子汁）
- 民謡も聞きたかった
- 黒木さんの歌が素晴らしかった
- アトラクションの中身は毎回工夫されている
- 抽選に漏れて残念
- イベントのPRを充実させてほしい
- マナー化の傾向あり
- 挨拶の最中、おしゃべりの声が聞こえてきて不快だった
- 皿やお手拭がテーブルにあると良かった
- 全員参加で楽しめるアトラクションを考えてほしい

④その他のご意見や感想

- 毎年出席者が減っていくのが残念
- 若者に案内状を出すことで、若い人の参加を増やしたい
- 全て良かった。この会が永続することを願う
- アンケートは○×の方が記入しやすい
- 同じテーブルについている人が知り合いではなかったので残念
- 楽しかった
- 知らない人達の中で兄の同級生と話が出来て良かった

⑤あなたの性別と年代を教えてください

- 男性・・・12
- 女性・・・13
- 80代・・・2
- 70代・・・13
- 60代・・・5
- その他・・・1

参加された方々の貴重なご意見を、次年度に活かしていきたいと思ひます。

若い人たちに「首都圏増田会」のことをもっとPRするとともに、単に郷土料理を堪能して頂くだけではない、中身の濃い会にしていきたいものとスタッフ一同切に願っております。今年もどうぞよろしくお願いします。

首都圏横手市ふるさと会連絡協議会

横手市ふるさと探訪ツアーに参加してみませんかあ～

日 時	平成30年10月25日(木)、26日(金)、27日(土)
集合場所	大曲駅発着 雄物川・大雄・山内地域など見学
会 費	28,000円(宿泊、昼食2回、入場拝観料含む)
宿 泊 先	雄物川温泉 雄川荘 あいのの温泉 鶴ヶ池荘
参加を希望する方は、越後英雄幹事長にお申込み願ひます。 電話 090-6623-1500	

山の幸や紅葉など時期的に観て最高のふるさとの秋が楽しめそうです。きっと私たちの若いころを振り返りながら感慨深さがわいてくると思います。

「ふるさとは遠きにありておもふもの（大岡 信 詩）」この詩は遠い昔の話になり、現在は高速道路や鉄道等の発達などで、ふるさとは日帰りできるような時代になりましたが、ふるさとをゆつとくり探訪することで新たな発見があるかもしれませんね。元気なうちにふるさとを探訪して、楽しい思い出をおみやげにして持ち帰りましょう。

ふるさとの味・ふるさとの言葉で交流を深める



平成29年11月19日(日)、「第32回首都圏増田会総会・交流会」がオーラム（東京都上野）で開催され、会員や増田町関係者など約140人が参加しました。

総会では、事業報告や事業計画、決算・予算が満場一致で承認されたほか、今回の総会で、佐藤章会長が退任し、新会長に細野芳之助さんが就任しました。これまで10年にわたり会長を務めていただいた佐藤章さんには、市から功労表彰が送られました。

交流会では、いものこ汁、ぼだっこおにぎり、漬物などのふるさとの味を振る舞い、シャンソン歌手黒木悦子さんの歌やカラオケ、ビンゴ大会などの余興で盛り上がりました。最後には、参加者全員で「ふるさと」を合唱し、来年の総会で元気に会うことを約束しました。

第32回 首都圏増田会総会

お願い ー連絡ー

事務局より

市町村合併後、市当局からの支援金が大幅に削減されてしまいました。つきましては、増田会としてやむをえず次のようにしました。

過去5年間、会費が未納の方

総会の案内及び増田会だよりの郵送を中止することにしました。ただし、総会への参加は構いませんので、一人でも多くの方々の参加を期待しています。

皆様のご理解の程をお願い申し上げます。

平成29年度首都圏増田会収支報告

平成29.11.19現在

首都圏増田会の平成29年度の収支決算がまとまりました。その内容は下記のとおりです。

【収入の部】		※「比較」欄は予算との比較	
項 目	金額(円)	比 較	備 考
年 会 費	334,240	▲15,760	2,000円/年(手数料差引後)
総 会 会 費	660,000	▲140,000	8,000円×82人
補 助 金	270,000	0	横手市より
前年度繰越金	601,295	0	
預 金 利 子	3	▲97	
諸 収 入	411,000	111,000	総会祝儀(322,000円) 広告収入・物産センターほか
収 入 合 計	2,276,538	▲44,857	

【支出の部】			
項 目	金額(円)	比 較	備 考
総 会 費	1,222,182	22,182	会場費、宴会費用他
会 議 費	148,806	▲51,194	役員会・3回
渉 外 費	107,000	▲93,000	首都圏横手市ふるさと会連絡協議会ほか
慶 弔 費	10,000	▲20,000	
広 告 費	86,970	6,970	増田の花火協賛金 50,000円 役員名刺代 19人
通 信 費	69,600	▲30,400	増田会だより印刷代ほか 500人
事業部活動費	10,000	▲40,000	役員研修会・探訪ツアー・助成金 増田会だより(広報部) 10,000円
手 数 料	3,888	▲612	送金手数料
事 務 費	9,322	▲10,678	事務消耗品ほか 役員会案内切手・はがき代
総会準備費	0	▲300,000	
予 備 費	0	▲136,895	
支 出 合 計	1,667,768	▲653,627	

収支差引残金 608,770円は翌年度へ繰越

平成29年11月19日 首都圏増田会 会長 佐藤 章

第33回首都圏増田会総会

- 期日 11月18日(日)午前11:30～
- 場所 オールム(昨年と同じ場所です)
住所 東京都台東区東上野1-26-2
電話 03-5812-1123

会費 8,000円

※参加者全員が着席できるように準備しています。

募集しています

写真募集 首都圏増田会広報部より

「増田会だより」の表紙に載せる写真を募集しています。増田会にふさわしく、増田に関する郷土の風景、行事、心に残る写真をお持ちの方がおりましたら、是非写真の提供をお願いします。

■提出先：広報部長 森泉 曜子

広告協賛募集 首都圏増田会総務部より

総会資料に掲載する広告を募集しています。1口(名刺版)3,000円となります。希望される方は、伝票の通信欄にその旨を記入いただき、会費と一緒に納入してください。

会費の納入はお早めに

事務局より

当会の事業・運営は、会員の皆様の会費によって賄われていますが、ここ数年会費の納入が遅れたり、未納の会員の方が出ています。健全会計維持のためにも、納入はお早めをお願いいたします。なお、未納の方には次回より案内状・便り等の送付はしないこととします。また、転居された方をご存じの方は横手市まちづくり推進部増田地域課へお知らせください。

■連絡先：秋田県横手市増田町増田字土肥館
173番地／電話0182-45-5510

◆会 費 年額2,000円

◆納入期限 平成30年10月10日

※振込伝票の通信欄は、会員紹介、増田会に対するご意見などを自由に記入してください。